
ついに蘭に正体が…

紫式部

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ついに蘭に正体が…

【Nコード】

N9567H

【作者名】

紫式部

【あらすじ】

刺されたコナンは病院へ。そこでは輸血用の血液がなく蘭は自分はコナンと血液型が同じと…

蘭に…

ピーポーピーポー

哀「江戸川君！？大丈夫！しっかりして！」

先「江戸川君！もうちょっとで病院に着くから！もう少しだから！がんばって！」

コ「はあはあ…つく…はあはあ」

救急隊員1「ぼうやもう少しだよ！血圧が下がってきた！止血ちゃんとしてんのか！」

救2「してます！でもとまりません！」

救1「大丈夫か！ぼうや！おい！どうした！？」

救2「脈の反応がありません…」

救1「おい！心臓マッサージと人工呼吸器をつけろ！」

救2「はい！1、2、3、4、5。1、2、3、4、5。脈回復しました！」

救1「まだ喜ぶには早いぞ！さあ病院に着いたぞぼうや！おじさんたちがぼうやを助けるからな！」

病院

蘭「コナン君！？コナン君！しっかりして！」

小五郎「先生！コナンの容態は！？」

医師「腹部を刺されて大量出血で大変危険な状態です…」

蘭「先生！コナン君を…コナン君を助けてください！」

小「私からも頼みます！コナンを助けてやってください！」

哀「私も！私からもお願いします！どうしても江戸川君を死なせたくありません！どうかどうか…うう…ぐすっ…」

医師「分かりました！全力を尽くします！」

看「先生！あの子にあう血液型に合う血液が前の患者さんで使ってしまったてあまってません！」

蘭「あの…私…私コナン君と一緒にO型です！だから私の血液を使ってください！」

小・哀・博士「えっ…」

看「分かりました！では処置室へ！」

哀「彼女工藤君の正体知っているのね…」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ……

医師「全力を尽くしました！どうにか助かりそうです！ただまだ油断は出来ません。助かっても何が起きるかまだ分かりません…」

小「そうですか…本当にありがとうございました！」

病室

哀「蘭さん…江戸川君の正体知ってますよね？」

蘭「…ええ知ってるわよ。前から怪しいとは思ってたけどね…哀ちゃんも知ってるんだ。」

哀「はい…だってわたしも灰原哀ではないんです…」

哀はすべて蘭に打ち明けた…

哀「…ってわけなんです…こんな話信じます？」

蘭「哀ちゃんがそこまでいうならそうとしか考えられない。ところで哀ちゃんの本当の名前って？」

哀「宮野…宮野志保です。前にミス・ユニバースの会場でハイリッて人にあったでしょ？それ私…」

蘭「そうなんですか！じゃあお久しぶりですね。でも新一^{コナン}どうして話してくれなかったんだろう…」

哀「工藤君の話だと人のために自分まで悩んじまうお人よしにそんな話せるわけねえだろ…」っていつてましたよ。」

蘭「新一…ほんとに推理バカの介なんだから…」

...
~
~
~
~

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9567h/>

ついに蘭に正体が…

2010年10月9日01時05分発行